

KATSUSHIKA HOKUSAI

北斎漫画

わらび座創立70周年記念作品

脚本・演出：マキノノゾミ
作曲：八幡茂
振付：新海絵理子
制作：わらび座

未来が求めるのは、
北斎的人間かもしれない

富嶽三十六景 神奈川沖
浪裏

文化庁

文化庁統括団体によるアートキャラバン事業
(コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)

わらび座 WARABIZA

2022年 10月10日(月・祝)

開場13:30 / 開演14:00

会場 伝国の杜置賜文化ホール

(山形県米沢市丸の内1-2-1)

主催：公益社団法人日本劇団協議会・一般社団法人わらび座
協力：公益財団法人 米沢上杉文化振興財団

全席指定

一般 5,000円
高校生以下 2,500円

チケット
発売日
7/21

当日券 各500円増 ※未就学児のご入場はご遠慮ください
★わらび座の会 (ごみコース以上)の方は 5枚まで10%割引
(会員様は事務所へ電話・FAXでお申込みください。高校生以下は割引対象外)
★伝国の杜ファンクラブ会員の方は 4枚まで10%割引

▶わらび座オンラインチケット (Gettii)
<https://www.warabi.jp/info/gettii.html>

チケットのお申込み・お問い合わせ

伝国の杜置賜文化ホール
・TEL 0238-26-2666
(9:00~17:00)
・FAX 0238-26-2660

一般社団法人わらび座
・TEL 0187-44-3332
(平日9:30~17:00)
・FAX 0187-44-3318



わらび座オンラインチケット

稀代の絵師・葛飾北斎と 人生を共にした周囲の人々との知られざる物語。 魂の傑作『富嶽三十六景』はなぜ生まれたか。



知らない道を歩こう
自分だけの道を
今日から歩いてみよう



時は江戸後期。鉄蔵のちの葛飾北斎、32歳の春。版元の葛屋重三郎がおことを鉄蔵に引きあわせる。家族を亡くして生きる張り合いを失っていたおことだが、日本一の絵師になりたいと夢中で絵を描く北斎の姿に、いつしか自分の夢を重ねていく。「ものには何でも色と形がある。その一瞬の姿をこの手で写し取れた時、たまらなく愛おしくなる。なんて楽しい、なんて嬉しい。それが絵師の仕事」戯作者・左七(曲亭馬琴とコンビを組んでヒット作を飛ばすが、作品の方向性を巡って大げんか。娘のお栄も鉄蔵に似て絵のことが好きでたまらない。せつかく結婚したのに亭主の絵をけなして離縁させられてしまう。そんな2人を支える妻・おことだが突然の病に倒れてしまう。おことのために一世一代の絵を描こうと決心する鉄蔵だが、はたして絵を完成させることはできるのか。そして左七との関係は…。

どーにかしてやるぜこの男!

Staff

脚本・演出
マキノノゾミ

静岡県浜松市出身。同志社大学文学部卒。劇団M.O.P.主宰(1984年旗揚げ・2010年解散)。外部の舞台へも作・演出と幅広く活動中。2002年度後期NHK連続テレビ小説「まんてん」脚本を担当。芸術選奨文部大臣新人賞、読売演劇大賞優秀作品賞、紀伊国屋演劇賞個人賞、京都府文化賞功労賞ほか受賞多数。

作曲 / 八幡 茂
振付 / 新海 絵理子
美術 / 高橋 知佐
照明 / 志村 拓
音響 / 福地 達朗
衣装 / 市橋 幸恵
小道具 / 平野 忍
ヘアメイク / 我妻 淳子
『八方睨み鳳凰図』美術資料協力 / 岩松院

Cast

鉄蔵(葛飾北斎) 役
鈴木 裕樹

秋田県大仙市太田町出身。2009年わらび劇場でのミュージカル「坊っちゃん」で、熱血青年教師の山嵐役に好評を博す。わらび座ミュージカル「げんない」では吉次郎(のちの司馬江漢)役、小田野直武役を務め、近年のわらび座ミュージカルでは、「為三さん!」の成田為三役、「KINJIRO!」の二宮金次郎役と主演を演じる。

曲亭馬琴 / 平野 進一
おこと / 遠藤 浩子
お栄 / 川井田 南
勝川春好他 / 黒木 友宜
葛屋重三郎他 / 瀧田 和彦
お路他 / 遠田 雅
お百他 / 上平 美咲
弟子他 / 村中 琉奈

公演に関するお問い合わせ

一般社団法人わらび座 公演事業部

〒014-1113 秋田県仙北市田沢湖幸田字早稲田 430
＜TEL＞0187-44-3332 ＜FAX＞0187-44-3318
＜Mail＞info@warabi.or.jp ＜WEB＞https://www.warabi.jp/

わらび座とは

わらび座は民族伝統をベースに、多彩な表現で現代の心を描き、日本のオリジナルミュージカルを上演する劇団です。1951年2月創立。現在、5つの公演・グループで年間約800回の上演を行っています。その他にも、民族舞踊・太鼓・演劇など、様々なワークショップの豊富な実績があります。また秋田県仙北市には劇団の本拠地として「あきた芸術村」を展開。常設公演を行う「わらび劇場」を中核としながら、温泉、ホテル、地ビール、体験工房、農園等からなる国内オンリーワンの複合文化施設として高い評価をいただいています。